

12月6日(金)～7日(土)にかけて、第45回日本肝臓学会東部会が 仙台にて開催されました。当科の医局員が日々の研究成果を報告いたしました(その一部を下記に示します)。この学会を通して学んだ知識を日常の診療に役立てて参ります。

① パネルディスカッション2 急性肝不全・ACLFの現状と課題

神田達郎：

酢酸亜鉛によるA型肝炎ウイルス増殖抑制効果の検討

② パネルディスカッション1 薬物性肝障害のマネジメント

上村 博輝：

ビッグデータと単一施設の後方視的解析を利用した漢方薬の薬物性肝障害の実態

③ワークショップ4 アルコール関連肝疾患の現状と課題

坂牧 僚：

糖鎖欠損トランスフェリン値はアルコール性肝硬変の急性腎不全および予後不良の予測に有用である

